

1990年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
 様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2019年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	4月27日 [土] 午後1時30分	西田幾多郎の親鸞理解 - 「知と愛」について -	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	5月18日 [土] 午後1時30分	娘の死と『国文学史講話』 - 西田幾多郎と藤岡作太郎の交友 -	徳田秋聲記念館館長 上田 正行
③	7月 6日 [土] 午後1時30分	文化財修復と仏教思想	石川県文化財保存 修復工房修復家 川口 法男
④	9月 7日 [土] 午後1時30分	プロティノスの哲学と美	岡山県立大学教授 樋笠 勝士
⑤	9月 8日 [日] 午前10時	アウグスティヌスの哲学と美	
⑥	10月19日 [土] 午後1時30分	スピノザ哲学入門1	東京工業大学教授 國分 功一郎
⑦	10月20日 [日] 午前10時	スピノザ哲学入門2	
⑧	2月 8日 [土] 午後1時30分	崇高とは何か - カント『判断力批判』から考える -	金沢美術工芸大学講師 星野 太
⑨	3月 7日 [土] 午後1時30分	京都学派の二人の創設者 - 西田幾多郎と田辺元の出会 -	関西学院大学名誉教授 嶺 秀樹
⑩	3月 8日 [日] 午前10時	西田・田辺論争 - 批判と応答 -	



1回からでも
気軽に参加
できる!

※石川県民大学校連携講座として、各回2単位を取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。
 ※かほく市民大学校の対象講座として、各回4単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

申込方法 〔各回受講〕 申込不要です。直接会場にお越しください。
 〔年間受講〕 住所・氏名(フリガナ)・電話番号を、葉書・電話・FAX・E-mail などにて右記までお申し込みください。申し込みは随時受け付けております。

※各回受講から年間受講への変更はできませんので、ご注意ください。
 ※個人情報、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。

受講料 1回:500円、年間:2,000円

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館

お問い合わせ



石川県
西田幾多郎記念哲学館
 Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
 TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
 E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
<http://www.nishidatetsugakukan.org/>



2019年度
西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授

① 4月27日 [土] 午後1時30分

西田幾多郎の親鸞理解 - 「知と愛」について

■講師、講座の紹介

西田幾多郎は真宗の家に生まれ、晩年の宗教論にも親鸞の思想の影響が見られます。『善の研究』の末尾を飾る論文「知と愛」を手掛かりに、西田の親鸞理解についてお話しいただきます。1907年8月、西田は、真宗の宗教家、暁鳥敏らとともに加賀市橋立で海水浴（療養）をしています。「知と愛」はその時に暁鳥の雑誌『精神界』に寄稿したものです。

■専門分野

西田幾多郎、日本哲学史、死生学

■主な著書・論文

『思想のレクイエムー加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡』（春風社）

上田 正行 徳田秋聲記念館館長、室生犀星記念館館長

② 5月18日 [土] 午後1時30分

娘の死と『国文学史講話』 - 西田幾多郎と藤岡作太郎の交友 -

■講師、講座の紹介

夏目漱石、徳田秋聲など、明治末から大正のはじめにかけて幼子をなくした文学者・学者がいます。同じ頃、西田幾多郎とその幼馴染で国文学者の藤岡作太郎も相次いで幼い娘（光子、幽子）を亡くしました。作太郎が光子に捧げるために刊行し、西田が幽子への思いを綴った序文を寄せた、著書『国文学史講話』を軸に作太郎と幾多郎の交友についてお話しいただきます。

■専門分野

日本近代文学

■主な著書・論文

『鷗外・漱石・鏡花一実証の糸』（翰林書房）

川口 法男 石川県文化財保存修復工房修復家

③ 7月6日 [土] 午後1時30分

文化財修復と仏教思想

■講師、講座の紹介

博物館や美術館などでは100年、1000年前の「文化財」を見ることができ、その裏には、長年伝えられてきた「文化財」を修復し後世へと伝える仕事があります。京都国立博物館に文化財保存修理所を置く宇佐松鶴堂で働くなど、長年、貴重な文化財の修復に携わっておられる川口法男先生に知られざる修復の仕事と仏教思想についてお話しいただきます。

■専門分野

文化財修復、仏教美術

樋笠 勝士 岡山県立大学教授

④ 9月7日 [土] 午後1時30分

プロティノスの哲学と美

⑤ 9月8日 [日] 午前10時

アウグスティヌスの哲学と美

■講師、講座の紹介

ギリシャで始まった哲学はキリスト教と結びついて発展します。キリスト教哲学者アウグスティヌスは、もともと修辞学の教師でしたが、386年、新プラトン主義の書物との出会いをきっかけに職を辞して信仰の道に入りました。新プラトン主義の創始者プロティノスと、アウグスティヌスについてお話しいただきます。

■専門分野

古代中世哲学、美学および芸術学

■主な著書・論文

「プロティノスにおける光と言語の形而上学」『光の形而上学』（慶應義塾大学出版会）

國分 功一郎 東京工業大学教授

⑥ 10月19日 [土] 午後1時30分

スピノザ哲学入門1

⑦ 10月20日 [日] 午前10時

スピノザ哲学入門2

■講師、講座の紹介

スピノザの『エチカ』はどう読んだらいいのか戸惑う、風変わりな体裁で書かれています。数学の本のように最初に用語の「定義」が来て、「公理」、「定理」、「証明」と続く…。NHKのTV番組「100分de名著」でこの難解な本を解きほぐした國分先生にスピノザの哲学についてお話しいただきます。

■専門分野

哲学、スピノザ

■主な著書・論文

『スピノザの方法』（みすず書房）

星野 太 金沢美術工芸大学講師

⑧ 2020年2月8日 [土] 午後1時30分

崇高とは何か - カント『判断力批判』から考える -

■講師、講座の紹介

単なる美しさを越えた「崇高な」美しさ。この感情はどうやって生じるのでしょうか。カントは美学の分野で「崇高」について本格的に論じた最初の哲学者でした。崇高と呼ばれる感情の、思いのほか複雑な仕組みについて考えます。

■専門分野

美学、表象文化論

■主な著書・論文

『崇高の修辞学（シリーズ・古典転生12）』（月曜社）

嶺 秀樹 関西学院大学名誉教授

⑨ 2020年3月7日 [土] 午後1時30分

京都学派の二人の創設者 - 西田幾多郎と田辺元の出会いは -

⑩ 2020年3月8日 [土] 午前10時

西田・田辺論争 - 批判と応答 -

■講師、講座の紹介

田辺元は西田幾多郎に請われて京都大学哲学講座の後任となった哲学者です。当初、西田哲学に共感を抱いていた田辺ですが、幾多郎退官後の1930年、論文「西田先生の教えを仰ぐ」を発表して西田哲学の批判を開始。西田・田辺論争は二人の思想が発展するきっかけになりました。

■専門分野

ハイデガー、ドイツ観念論、日本哲学

■主な著書・論文

『西田哲学と田辺哲学の対決』（ミネルヴァ書房）